

故障かな？と思ったら

機器の不具合の場合、まずは**再起動**をお試しください。解決しない場合、次の事項をご確認ください。

こんな時は		ここをご確認ください
P C	起動しない 本体が傾く	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントは完全にささっていますか？ →通電するとディスプレイ右上のオレンジ色のランプが点灯します。
ソ フ ト	エラー "モジュールと接続できない"	<ul style="list-style-type: none"> ●PC軸体の四隅に配置してある高さ調節ねじを使用してください。 →ボルトを回すことによって高さを調整し、軸体の水平を保ってください。
モ ニ タ ー	PCの画面が映っている 画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ●ソフト画面右下の最終判定のスクリーン選択 →¥¥¥DISPLAY2を選択してください ●コンセントは完全にささっていますか？ →画面にconnecting…など表示されれば通電しています →もしくは機体裏側のモニターパイロットランプがグリーンに点灯します ●PCとモニターの再起動を試してみましたか？ →PCの電源を落とし、PCとモニターのコンセントを抜く。15秒ほど待ちコンセントを差し直しPCを起動。モニターはPCの真横に設置した状態でコンセントを挿しモニター画面が正常に映るか確認してください。 ●アンテナを取り付けましたか？(PCとモニターに2本ずつ) →アンテナ取付端子がさびている場合は、錆除去をお試しください。 ●長時間日光に当たっていませんでしたか？ →長時間日光に当たり続けると画面焼けを起こすことがあります。日陰などの涼しい場所でしばらく放置した後、再度確認してください。
ス ピ ー カ ー	電源が入らない 音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ●充電はできていますか？ →付属のコード(Cタイプ)とコンセントで充電してください。 ●電源ボタンは長押ししましたか？ →電源ボタンを長押しすることで起動します。 ●モニター(裏側)の近くでスピーカーを起動し、再度ペアリングを試してください。 →ペアリング先を探している状態だと、スピーカーのランプが点滅し、ペアリングに成功するとランプが点灯に変わります
背 面 照 明	ライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントは完全にささっていますか？ ●背面照明の照度は強くないので、日中は光が弱く感じることもあります。判定時にタイヤの背景が白く映っていれば問題ありません。
タ イ ヤ 照 明	ライトが点灯しない 光が弱く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントは完全にささっていますか？ ●照度が落ちても判定に影響がなければ、問題ありません。 →明らかに暗い場合、判定に影響がある場合はご連絡ください。
その 他	アンテナが折れた	<ul style="list-style-type: none"> ●レンタル店にお問い合わせください。

判別精度が低いな…と思ったら

メーカーに問い合わせる前に、次の事項をご確認ください。

こんな時は	ここをご確認ください
判別精度が低く感じる	<p>●機材の配置は正しいですか？ →PCのケースに同梱してある手順書を設置ガイド(P.2~3)を参照してください</p> <p>●ソフト画面の「領域表示」を押したときの画像は、手順書P.5⑪と同じような画面になってますか？ →同じような画面でない場合は、手順書 P.5⑪と同様になるように設置しなおしてください。</p> <p>●撮影方向の選択は正しいですか？（運転席側OR助手席側） →「ファイル」>パラメータ設定>カメラ位置</p> <p>●撮影画像は問題ないですか？ →デスクトップ>出力フォルダのタイヤ撮影画像を確認してください</p> <ol style="list-style-type: none">1) タイヤが暗い（サイドが確認できない）<ul style="list-style-type: none">・タイヤ照明の光が基準ポイントにあたっているか確認（手順書P.2）・照明の角度を確認（手順書P.11）2) タイヤの画像がピンボケしている<ul style="list-style-type: none">・カメラのレンズに水滴や汚れなどがついていないか確認・「ファイル」>パラメータ設定>カメラ位置 対象距離設定が実測値と同じか（手順書P.3⑦）3) 手前側のタイヤを撮影している →この場合、前輪はOK・後輪はNGと判定 ホイールベースなどの関係で手前側のタイヤを撮影・判定してしまうことがあります。 手前側タイヤは、照射される光量などが適切でないため、NG判定となります。 頻発する場合は、奥側のタイヤ（背面照明側）が撮影できるようにPCや照明の配置を調整してください。 <p>■その他判別精度に関する事象（通過速度、タイヤの表面状態、降雪強度）</p> <ul style="list-style-type: none">・車両の走行速度は30 km/h以下で鮮明に撮影されます。・撮影ポイントに水溜りがあるとトレッド面が不鮮明になり、判別精度が低下します。・降雪時に雪の映り込みがある場合は、精度が低下します。・タイヤの摩耗が進んでいる場合はスタッドレスタイヤでもノーマルタイヤ（NG）判定になります。
渋滞が発生した	<p>●NGと判別された車両は、判別レーンから外して停車・人力チェックを行ってください。 判別レーン上で停車させると、渋滞につながります。</p> <p>NG車両を引き込む場所が無い場合は、後続車両を判別システムの後方で停車させるようお願いします（カメラの前を30 km/h以下で走行させるため）。止まっているタイヤは判別しません。</p>